

## 名鉄バス豊田営業所管内バスロケーションシステム整備事業計画（概要）

### 全体構成

#### 1 公共交通会議に付議する理由

- (1) 当該システムの導入に当たり、国の地域公共交通確保維持改善事業費補助金を活用
- (2) 補助事業の申請にあたり目的、必要性、目標及び効果等を記載した生活交通改善事業計画が必要で、これは協議会（地域公共交通会議、法定協議会）又は市町村が地域の意見を踏まえて効果的な事業を実施するために協議会の議論を経て作成が必要
- (3) この補助の申請者は名鉄バス株式会社で、補助金も同社に交付

#### 2 背景、目的及び効果

- バス運行に遅れが生じた場合、利用者の心理としては、さまざまな不安がよぎり、他の交通手段の利用に支障が出たり、不便だけでなく、不利益をこうむるが、利用者はバスの位置がわかることで、代替交通手段等の対策を講ずることが可能
- バス位置を利用者に知らせるためにバスロケーションシステムを導入
- 名鉄バス株式会社は、バスロケーションシステムを豊田営業所管内以外ではすべて導入済

#### 3 実施内容

##### (1) システムの仕組み

- ① バス停において、車両の扉を開閉した情報を携帯電話の通信網を利用し、バスロケータサーバに送信
- ② バスロケータサーバで処理した情報を、営業所端末又はインターネット回線を利用することで、利用者が持つ携帯電話、スマートフォン、個人パソコンなどからバスの運行情報を入手

##### (2) 利用方法

- ・ バス停、ホームページ上にある「2次元バーコード」を携帯電話、スマートフォン等で読み取りアクセスすることで運行情報を閲覧
- ・ ホームページ上で、利用路線を選択することで運行情報を閲覧

#### 4 導入費用

総事業費 5, 348千円（車載器37両分、営業所管理端末、ソフトウェア改修ほか）  
 ※総事業費の3分1の国庫補助を受ける予定（1, 782千円を予定）

#### 5 おいでんバスとの連携

バス運行状況を従来よりも正確に把握することにより、他の交通機関（豊田市）とのダイヤ調整などの連携強化に取り組み、情報を相互利用することを今後は検討・協議していきます。



## 携帯・スマートフォン表示



①バス停の2次元バーコード  
を携帯電話で読み取る



②名鉄ナビの検索結果から



## 名鉄バスホームページ 名鉄バスホームページに2次元バーコードの一覧を掲載



平成27年 2月 5日

（名称）豊田市公共交通会議

（代表者名）会長 近藤 直人

1. 生活交通改善事業計画の名称
名鉄バス豊田営業所管内バスロケーションシステム整備事業計画

2. 利用環境改善促進等事業の目的・必要性
<p>名鉄バス株式会社は、本市及び周辺地域において広域的公共交通ネットワークを形成しており、様々な利用促進策を講じて利用者の利便の向上に努めている。現在は、バスの待合環境改善のため、利用者がどこにいてもバスの運行情報を入手できるバスロケーションシステムの導入を推進している。</p> <p>この一環として同社豊田営業所管内にバスロケーションシステムを導入し、同社のバス路線について、インターネット上で、バスの接近情報、バス停留所までの遅延情報等を利用者に提供することにより、バスの利用環境改善を図るとともに、営業所内にもバスの運行状況を確認できる端末を導入して、利用者からの問い合わせに即座に対応できるようにするものである。</p>

3. 利用環境改善促進等事業の目標及び効果
<p>（1）事業の目標</p> <p>FOMA通信網やQRコードなどを利用し、バスの遅れ時間などの運行状況を携帯電話・スマートフォン・パソコンなどから閲覧できるサービスを提供することで、バス待合環境の改善を図り、利用者の満足度向上と利用促進につなげる。</p>
<p>（2）事業の効果</p> <p>・バスの利便性向上</p> <p>バス停だけでなく、自宅等のバス停から離れた場所でもバスの運行情報を把握することができ、遅れ時間等を明示することで「いつ来るのか」という不安感を解消するとともにバスの利便性を向上させ需要の底上げを見込む。</p> <p>また、運行状況を把握するための携帯・スマートフォン・パソコンなどを持たない利用者からの問い合わせに的確に答えられるよう、営業所内に運行状況を確認できる端末を設置して、より多くの利用者の利便性の向上をはかる。</p> <p>・利用者逸走の防止</p> <p>各々の利用者が問い合わせた時点での正確な運行位置を表示するため、「待っていても来ない」「時間が読めない」といったバスが持つ典型的なネガティブイメージから脱却し、「バス離れ」に歯止めをかける。</p>

4. 利用環境改善促進等事業の内容と当該事業を実施する事業者
<p>（1）事業の内容：実施事業者（補助対象事業者） 名鉄バス(株)</p> <p>○ バスロケーションシステムの整備</p> <p>○ 名鉄バス(株)豊田営業所管内路線への導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車載器：名鉄バス(株)豊田営業所所在籍車両（37両）</li> <li>・その他：営業所管理端末、ソフトウェア改修等</li> </ul>
<p>（2）関連事業</p> <p>（地方公共団体の各種計画との位置付け、計画内容）</p> <p>豊田市公共交通基本計画</p>
<p>（事業実施地域）</p> <p>次の地域の名鉄バス(株)豊田営業所が管轄する路線</p> <p>豊田市、日進市、みよし市、東郷町</p>
<p>（事業を実施すべき緊急性）</p> <p>慢性的な渋滞、高齢化の進展という社会構造の中、利用しやすい公共交通サービスの提供が求められている。</p>

5. 利用環境改善促進等事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額							
平成27年度							
事業の名称	総事業費 割合	国費 割合	都道府県 負担割合	市区町村負担割合		事業者負 担	その他 バス協会等
				豊田市	その他		
名鉄バス豊田営業所管内バスロケーションシステム整備事業	5,348千円	1,782千円	0千円	0千円	0千円	2,566千円	1,000千円
		※未定					※未定
合計	5,348千円	1,782千円	0千円	0千円	0千円	2,566千円	1,000千円
		※未定					※未定
<p>※ 総事業費については見込み額を記載。</p> <p>※ 列記の者以外に費用負担者がいる場合には、適宜修正の上、全体構成が分かるように記載。</p>							

6. 計画期間			
以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印（←→）、または横棒線（——）で記載 ●で年度ごとの事業着手日、事業完了日を記載			
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	4月 9月 12月 3月		
バスロケーションシステムの導入			

7. 協議会の開催状況と主な議論
<p>平成27年2月5日の豊田市地域公共交通会議の開催に先立って、関係各市の地域公共交通会議の会長（会議の開催が無い市は市長）宛に承認協議を行った。</p> <p>平成27年2月5日開催の豊田市地域公共交通会議で委員に事業内容について協議する。</p>

8. 利用者等の意見の反映
<p>平成27年2月5日開催の豊田市地域公共交通会議で委員に事業内容について説明し、意見等を聴取して計画に反映する。</p>

9. 協議会メンバーの構成員	
関係都道府県	愛知県交通対策課 愛知県豊田加茂建設事務所、愛知県豊田加茂建設事務所足助支所
関係市区町村	豊田市交通政策課、日進市、みよし市、東郷町
交通事業者・交通施設管理者等	名鉄バス株式会社、豊栄交通株式会社、公益社団法人愛知県バス協会、愛知県タクシー協会、愛知県警察豊田警察署、足助警察署、国土交通省中部地方整備局ほか
地方運輸局	中部運輸局愛知運輸支局
その他協議会が必要と認める者	豊田工業高等専門学校教授、豊田商工会議所、豊田市区長会、豊田市PTA連絡協議会、豊田市老人クラブ連合会、社会福祉法人豊田市社会福祉協議会、豊田市消費者グループ連絡会、愛知県交通運輸産業労働組合協議会ほか

【本計画に関する担当者・連絡先】

（住 所）豊田市西町3丁目60番地

（所 属）豊田市役所都市整備部交通政策課

（氏 名）杉浦、池田

（電 話）0565-34-6603

（e-mail）koutsu@city.toyota.aichi.jp